

市長タウンミーティング概要（門沢橋コミュニティセンター）

令和7年2月16日（日）16:00～17:00

○意見交換

〔質問〕

最近、交通や身の回りの安全安心について心配をしている。埼玉県では、地盤が崩れトラックが転落している。埼玉県の川口市では、不法滞在する外国人が増えており、問題となっているようだ。また、危ない運転をする外国人がニュースに取り上げられており、非常に心配になっている。海老名市の外国人の居住状況はどうか。

〔回答〕

海老名市内には、約3,000人の外国人の方が住んでいる。外国人住民が多い地区は東柏ヶ谷である。これは綾瀬市に工場が多いためと思われる。海老名市南部に住む人が増えた理由は、北東部の家賃が高くなってきたためかもしれない。不法滞在者を把握することはできない。他の関係機関が対応するしかないと思われる。

〔質問〕

私の家の周りのアパートの入居者は、半分以上が外国人だと思われる。家の前の道路にたばこの吸い殻を捨てられたり、夜遅くに騒いでいたり困っているところである。どれぐらいの方が正規に手続の上、転入をしてきているのか。また、手続の際にはどのような指導をしているのか。

〔回答〕

転入手続きをした際に、様々な言語に対応したしおりを配付し、ごみの捨て方等について指導している。問題となっていたごみ集積場が数百箇所近くあったが、担当や不動産管理事務所等の指導により、現在は100箇所弱にまで減少している。指導しても改善しないようであれば、ごみに注意文を貼り回収をしないように伝えている。不動産管理事務所等と行政で協力しながら、改善をしていきたいと思っている。また、海老名市では約3,000人の外国人がいるので、交流する機会をつくりながら、指導をしていきたいと考えている。

〔質問〕

近年の物価高騰により、経済的に負担が増えている。一般企業では年齢的にも働くことができない。市の学校安全監視員に応募しているが、採用されない。定年制を導入するなどして、多くの高齢者の働き場の場となるようにしていただきたい。

〔回答〕

高齢者の働き先については、シルバー人材センターと協力しながら、多くの人が働けるようしていきたい。

〔質問〕

大分県でイスラム教徒が埋葬の関係で問題となっているようである。川崎市の武蔵小杉のマンションの多くを中国人が購入して住んでいると聞いた。国の主義主張や経済体制、政治体制の違う国民に永久的な資産を売るのは問題だと思う。

〔回答〕

外国人の資産購入が今後更に問題となる場合は、国が法律を整備することになるだろう。国の動向を見守っていきたい。働き方改革が進んできており、働き手不足が生じているので、外国人の労働力は必要だとは思っている。日本の伝統や文化を教えるから日本に来ることが必要だと思う。

〔質問〕

えび〜くるは土、日休みであり、受付は16時までだと聞いた。16時以降に連絡をしたくても連絡がつかなく不便である。

You Busを降りる場所に段差があったり、バスの中が狭かったりと高齢者が利用するには不便なところがあるので、考慮していただきたい。

相鉄ローゼンの移動販売車が週に1回きているが、同じ品物を持ってきているので利用者が多くない。販売する商品を変更する、又は移動販売ではなく、スーパーまでのバスを出した方が良いと思われる。

〔回答〕

現在You Bus実証運行を実施しているところであり、不便な点や運行上の問題を検証している。実証運行の期間も令和7年秋頃まで延長し、様々なデータを集めている。整理をした上で、最終的な形として作り上げていきたいと考えている。

市内では、ガーデン薬局が送迎バスを出している。今後えび〜くるやYou Busを継続しながら、行政としてできることを検討していく。

市ではイオンやローゼンの移動販売車のガソリン代を補助している。事業者が主体的に動くよう、事業者に働きかけることも必要だと思っている。

〔質問〕

不登校について伺いたい。文科省の発表によると、令和5年度の不登校児童生徒数は、小中学校で34万6000人、高校で6万9000人である。割合にすると小学校では60人に1人が不登校、中学校では17人に1人が不登校になっている。海老名市ではどれくらいの不登校児童生徒がいるのか。

昨年末に起きた母親が子ども3人を殺害した事件について、市の対応はどうだったのか。こういった事件が起きないように不登校の家族を抱える親の会等の利用を行政が周知していただければと思う。

〔回答〕

市内には400人以上の不登校児童生徒がいる。フリースクールに行く、又は保健室で過ごすなど、できるだけ学校に近づけるような支援をしている。不登校の児童

の中には、家から出てこられない子もいる。学校も不登校の児童については、対応に苦慮している。これは、全国的な問題だと思っている。

昨年末に起きた事件を受け、教育委員会ではマニュアルを作成し、発表している。今回の事件の家庭の事情は非常に複雑である。こういうことが二度と起きないように教育委員会は動いているので、ご理解いただきたい。

〔質問〕

市役所周辺地区の人口については、今後増えていくとのことである。いずれは海老名市の人口が減る時がやってくると思う。そういったことを踏まえ、学校編成の将来イメージ像について伺いたい。

〔回答〕

海老名中学校を市役所周辺に移動し、海老名小学校周辺の借地等の問題を解決しながら、海老名小学校を再編したいと考えている。今泉小学校については、増築工事が完了したが、まだ足りない見込みのため、敷地内にプレハブ教室を新たに作る予定である。社家小学校及び門沢橋小学校の区域については、少しずつ人口が増えている。有馬小学校については、児童の数が少なく1学年の人数が保てない可能性がある。小中一貫校とするか有馬小学校の場所を南部の別の場所に移すか等を検討している。小学校を統合し、スクールバスで送迎をすることも考えたが、億の費用がかかってしまい、かつ、南部地区の市民にとって、伝統ある有馬小学校を廃校とってしまうのは、抵抗があるだろう。有馬中学校は将来残っていくとは思いますが、南部の3つの小学校をそのまま残すことはできないと思っている。教育委員会は、この1年をかけて学校再編計画の見直しを行う。それを踏まえ、行政としてどうしていくか検討していきたい。